

2022-23年度活動テーマ(案)「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

2022年度活動テーマ

つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～ の実現に向けて！

**職員で地産地消チームを結成します。
生産者と組合員をつなげる活動を
事業の軸としていきます！**

この2年間、新型コロナウイルス感染拡大によって人と人の対話をする機会が大きく失われました。見えないウイルスに対する恐怖に怯えながら、自分が感染しないように、それ以上に人に感染させないように、他者を気遣う国民性をも垣間見たように思います。

常総生協も2年間Zoomでのオンライン講習会や生協まつり、WEB媒体でのイベント受付、お知らせに取り組んできました。それ自体は内容もさることながら活動や人とのつながりを止めることなく、素晴らしい取り組みになりました。

しかしながら、生産者の想いや生産現場を五感を通して知る機会は作れませんでした。

○私たち生協職員の役割、仕事は何？

生産者-組合員がいて初めて職員が必要になります。常総生協の本質は消費生活協同組合ではなく、生産にも組合員が関わる生活協同組合を目指して援農活動や、講習会など、生産者・組合員をつなげる役割をしてきました。良い生産者とは？組合員がすごいとは？このことの本質はなんでしょうか？

と、考えたとき、今まで常総生協の取り組みを考えると、生産者と組合員に対して「たべもの」という人のいのちの根源という非常に重い内容について、職員も一緒に真剣に取り組んできたことの成果だと思えます。そうした時に見えてくることは、私たち生協職員は生産者と組合員をつなげる架け橋となる存在になる事だと思えます。



もう一度、原点を皆で振り返りながら取り組みたいと思います。

人と人の結集体が協同組合です。大変な事もあると思いますが、**時間はかかっても活動を事業の軸として業務の中心に据えることが、「常総生協なら安心」あるいは「常総生協はやりがいがある」という信頼関係を、組合員と生産者そして職員の力で確かなものに育てていきたいと思えます。**

つくと食べるでつながろう

～私たちの地産地消～

の実現に向けての取り組み

大豆PJ

- ・理事会を中心に2年目の取り組みをしていきます。
- ・収量目標1,000kg
- ・6月:播種→8、9月:除草作業
→10or11月:除草&枝豆交流会
→12月:大豆収穫作業

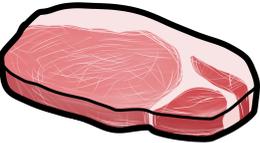
地産地消チーム

- ・生協職員を中心に取り組みます。
- ・全チームの目標は組合員と生産者をつなげる事です。具体的な例として、2年間で100名の組合員を交流会、援農会に連れていく等です。
- ・生協職員として学び、伝えていく事で協同組合を学び、成長を目指します。

新商品・シーズン商品 食べてみよう会

新商品・季節商品などの試食会を開催します。新商品としてカタログに掲載しようとしている考えや、生産者の想いを聞き、組合員さんと共に考えていく会です。

○地産地消チームの紹介

チーム名	活動の目標	職員 ★はリーダー
地元の野菜チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2年間で産地に組合員を100名の参加者をめざします。 ● 地場野菜のシェアを増やすために、旬のものをおすすめしていきます。 ● 組合員、生産者、職員が気軽に話ができる関係性を目指していきます。 	★伊原、★滝本、★倉田、阿部、平井、萩原、丸山、稲垣、坂田、加藤、南 (計11名)
水産チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1イベント10人以上の参加者を目指していきます。 ● 職員も組合員と一緒に学習します。 ● 参加できなかった組合員にも広報で伝えていきます。 ● 生産者とチームが商品担当者無しでもやり取りができるような信頼関係を作ります。 	★大橋、柿崎、木内、木本、入江、戸口 (計6名)
畜産チーム 	<ul style="list-style-type: none"> ● 組合員に畜産の問題点・課題(部位のバランス・飼料)を学び、発信していきます。 ● 広報用のニュースやカタログを作成し、全体の利用を推進していきます。 ● チームメンバー全員が他の職員に対しても現状を分かりやすく説明できるように学習していきます。 	★磯野、小室、横関、大澤、小菅、萱沼、青嶋、藤沢 (計8名)

現在、皆で話し合っ2年間の活動のロードマップを作成して計画立てをしています。各チームごとに、組合員さんへの参加呼びかけのおしらせをしていきます。初めて産地に行く職員もいます。是非組合員さんも一緒に産地に行って共に楽しく学びながら体験していきましょう！
今後のチーム活動への参加・協力をよろしくお願いします。

2022-23年度各地区「総代」が決まりました。

各地区からの「総代」が確定いたしましたので報告致します。総代の皆さん、組合員を代表して総代会での討議、2年間の運営協力よろしくお願い致します。（2022-23年度 総代選挙管理委員会）

2022-23年度総代名簿

No.	地区	コース	班名	組合員NO.	氏名	No.	地区	コース	班名	組合員NO.	氏名
1	取手市	G-1a	東P片岡	071323	片岡 陽子	51	牛久市	B-4a	上柏田P高野	022361	高野 利佐
2	取手市	G-1a	青柳202本田	025357	本田 薫	52	牛久市	F-4a	中央P大野	006006	大野 光子
3	取手市	B-1a	白山P埜川	024879	埜川 宏子	53	つくば市	B-5a	花室P飯野	025238	飯野 恵理
4	取手市	B-1a	新町P大関	071163	大関 光子	54	つくば市	C-5a	二の宮204後藤	019669	後藤 加代子
5	取手市	H-1a	西P児玉清美	023683	児玉 清美	55	つくば市	C-5a	小野崎P座間	024588	座間 靖子
6	取手市	G-1a	青柳P大内	022828	大内 康恵	56	つくば市	B-5a	吾妻502服部	019515	服部 直美
7	取手市	F-1a	P本田佳代子	017668	本田 佳代子	57	つくば市	G-5a	学園P鈴木	023660	鈴木 理子
8	取手市	F-1a	新2-02	000375	藤瀬 純子	58	つくば市	G-5a	豊里P柿木	019897	柿木 千種
9	取手市	C-1a	光風-08	001846	中村 泰子	59	つくば市	G-5a	学園の森P佐藤	021669	佐藤 暁子
10	取手市	C-1a	桐木P酒井	025130	酒井 理栄子	60	つくば市	H-5a	梅園P鈴木	026704	鈴木 美栄
11	取手市	I-1a	台宿208加賀谷	070465	加賀谷 容子	61	つくば市	F-5a	稲荷前P児玉	022871	児玉 孝秀
12	取手市	I-1a	団地204山賀	001020	山賀 昌子	62	つくば市	E-5a	篠崎P山村	020338	山村 英司
13	取手市	E-1a	桜が丘15加藤	010889	加藤 富士子	63	つくば市	E-5a	玉取P阿部	501820	阿部 法子
14	取手市	E-1a	桜が丘12鎌田	001012	鎌田 勉	64	つくば市	D-5a	松代P高橋幸子	020823	高橋 幸子
15	取手市	J-1a	下高井201齋藤	025724	齋藤 享子	65	つくば市	H-5a	並木P加茂	020211	加茂 真佐美
16	取手市	H-1a	西P岡崎知子	010239	岡崎 知子	66	つくば市	C-5a	小野崎P都丸	025292	都丸 由起
17	取手市	J-1a	下高-07	003357	長塚 史子	67	つくば市	I-5a	宝陽台P近野	010124	近野 ひさ子
18	取手市	H-3a	戸頭P松下	000003	松下 悦子	68	つくば市	A-5a	学園南P高野	026258	高野 ゆう子
19	取手市	B-1a	白山P高原	015031	高原 晶子	69	つくば市	B-5a	倉掛P佐藤	020807	佐藤 暁子
20	守谷市	A-3a	御所P石田	082104	石田 能子	70	つくば市	E-5a	花畑P西尾	015890	西尾 典子
21	守谷市	A-3a	大柏P鶴野	024254	鶴野 美春	71	つくば市	D-5a	大白碓P大和田	024006	大和田 宏美
22	守谷市	G-3a	ひがし野P坂田	023779	坂田 真樹	72	稲敷郡阿見町	G-4a	荒川本郷P岡野	025003	岡野 靖子
23	守谷市	G-3a	ひがし野P上田	024863	上田 俊英	73	土浦市	J-4a	中都町P相崎	023962	相崎 伸子
24	守谷市	G-3a	本町P加藤	024341	加藤 美穂	74	土浦市	J-4a	真鍋P香取	026348	香取 潤一
25	守谷市	G-3a	松並青葉P丸山	027664	丸山 優香	75	土浦市	J-4a	土浦16須貝	005600	須貝 圭子
26	守谷市	B-3a	みずき野P横山	005361	横山 奈美	76	石岡市	A-4a	吉生P吉岡	026053	吉岡 康江
27	守谷市	B-3a	みずき野P鹿島	010363	鹿島 孝子	77	石岡市	A-4a	府中P吉井	021096	吉井 ひろみ
28	守谷市	I-3a	薬師台P原田	020955	原田 仁美	78	我孫子市	B-2a	天王台P福田	500003	福田 はぎの
29	守谷市	C-3a	松ヶ丘P松本	024285	松本 由佳	79	我孫子市	B-2a	高野山P若松	023267	若松 千亜紀
30	守谷市	C-3a	けやき台P桜井	027365	桜井 友子	80	我孫子市	J-2a	並木P今井	025079	今井 尚
31	守谷市	I-3a	松前台P園部	027749	園部 理恵	81	我孫子市	J-2a	青山台P栗原	026354	栗原 洋子
32	守谷市	I-3a	松前台P福良	025977	福良 あゆみ	82	我孫子市	J-2a	根戸P島崎	023338	島崎 康子
33	守谷市	J-3a	久保ヶ丘P赤穂	013152	赤穂 洋子	83	我孫子市	J-2a	青山台P伊井澤	026113	伊井澤 彩帆里
34	つくばみらい市	F-3a	富士見ヶ丘P岡田	026516	岡田 行正	84	柏市	G-2a	大室P森	027292	森 博子
35	つくばみらい市	F-3a	富士見ヶ丘P松澤	026130	松澤 紗織	85	柏市	F-2a	増尾P石川	023324	石川 裕子
36	つくばみらい市	G-3a	筒戸P鈴木	018665	鈴木 百栄	86	柏市	F-2a	藤心78藤原	023249	藤原 弥生
37	常総市	J-3a	亀岡町P壺井	020944	壺井 和子	87	柏市	H-2a	豊住P玉川	026602	玉川 博
38	坂東市	D-3a	坂東20	024293	内田 ちひろ	88	柏市	E-2a	西山P清野	501882	清野 さつき
39	北相馬郡利根町	A-1a	羽根野P久保	018212	久保 具子	89	柏市	G-2a	宿連寺P成嶋	024551	成嶋 暁子
40	北相馬郡利根町	A-1a	ニュー18菅野	003674	菅野 和子	90	柏市	F-2a	新柏304牧野	500093	牧野 美智子
41	北相馬郡利根町	D-1a	白鷺23村田	004477	村田 澄江	91	松戸市	E-2a	金ヶ作P篠原	024950	篠原 妙子
42	龍ヶ崎市	I-4a	平台03海原	009533	海原 幸枝	92	松戸市	E-2a	栗ヶ沢P柴田	024949	柴田 仁代
43	龍ヶ崎市	C-4a	佐貫502小笠原	023500	小笠原 ゆかり	93	松戸市	H-2a	八ヶ崎P梅村	027873	梅村 友利
44	龍ヶ崎市	D-4a	小柴P猪岡	019355	猪岡 洋子	94	松戸市	C-2a	大橋P田中	024990	田中 妙子
45	龍ヶ崎市	C-4a	松葉P工藤	001837	工藤 道子	95	野田市	A-2a	岩名P武智	025636	武智 多恵子
46	龍ヶ崎市	C-4a	松5-02西村	003153	西村 咲子	96	流山市	D-2a	西平井P赤羽	022899	赤羽 宮子
47	龍ヶ崎市	D-4a	久保台P太田	020945	太田 由乃	97	流山市	D-2a	松ヶ丘P川本	500311	川本 千江子
48	龍ヶ崎市	D-4a	長山55田部	016915	田部 里花	98	守谷市	戸頭店	戸頭店	023666	西田 千恵子
49	牛久市	F-4a	南P平井	026974	平井 雅子	99	取手市	戸頭店	戸頭店	071003	秋山 貞子
50	牛久市	B-4a	牛久201若狭	024291	若狭 朋子	100	守谷市	戸頭店	戸頭店	017601	高城 晴美

常総生協として、「食はいのち」の根底を揺るがす原発事故は二度と起こしてはならない。そういった想いから、色々な団体とも連携して東海第二原発を止める働きかけをしています。未来会議も共に活動している仲間です。

○未来会議について：

「いばらき未来会議」は、2020年9月に発足し、原発のない安全で平和な社会を創る活動をしています。具体的には、東海第2原発の再稼働を止めさせることを目指して、次のようなことに取り組んでいます。

- 「再稼働」阻止につながる行政に何らかの働きかけをする。
- 各地域の活動団体（個人）との連携や情報提供などをする。
- 関係自治体の首長や議会（議員）に働きかけをする。
- 原発問題の理解を深める集会や写真展などを開催する。

○涌井氏をお呼びしての「農業の未来を考える-3.11以降の農業と町・村おこし-」について

いばらき未来会議と憲法のつどい実行委員会は、安全で豊かな自然に囲まれた社会の実現を目指して活動しています。この活動の1つとして、茨城県の重要な産業である農業に焦点をあてて下記のような集会を開催します（別紙チラシ参照）。この集会では、東海第二原発の再稼働が私たちにとって正しい選択なのかについても考えてみたいのです。

プログラム構成は以下のようになっています：

1. 動画「3.11震災記録」の上映（20分）

この動画は「東日本大震災」に関連する映像を編集したものです。地震・津波のすさまじい被害状況と福島第1原発事故の様子を映しています。さらに、原発事故に関する有識者の意見を紹介しています。最後に、原発の被害がどういうものかを、農家の取材を引用して伝えています。全体として、原発の重大事故が起これば、被災者は命を守れたとしても、居住地・財産・生活等々何もかも失うということ、もう一度人々に思い起こしていただくことを意図したものです。

2. 感想と意見交換（20分）

主催側から集会の内容(意図)を説明するとともに、上記「動画」の感想などを参加者から出しあっていただきます。

3. 涌井義郎氏と曾我日出夫の対談（50分）

「いばらき未来会議」代表の曾我日出夫が、次のようなテーマで、涌井氏とインタビュー的な対談をします。

- ・ 原発事故で失ったもの（農業の視点から）
- ・ 「町・村おこし」の提案（農業の役割）（地域の自立的な発展を基本とする）
- ・ 涌井氏の実践報告（有機農業の振興と自然商品の販売等について）

4. 東海第2原発に関する情報提供と意見交換（20分）

主催者側から、この原発の再稼働に関する諸情報をお知らせするとともに、参加者からも関連する情報と意見（活動の提案）を出していただき、討論します。

参加できる方は下記へお問い合わせください。

- 連絡先
 - いばらき未来会議代表：曾我日出夫
 - TEL 0299-45-6015
 - E-mail: hsoga319@gmail.com
 - 憲法のつどい実行委員会事務局長：
 - 黒澤純一 TEL 029-350-6648 E-mail: mito@jtsu-e.org

農業の未来を考える
3.11以降の農業と町・村おこし

「3.11東日本大震災」を振り返り、福島被災地の農村の様子を見ます。これを踏まえて、これからの「町・村おこし」とそこでの「農業」の役割を考えます。有機農業の実践家である涌井義郎氏に聞き、未来の町・村の姿を皆さんと話し合いたいのです。その中で原発問題も討論します。

プログラム

第1部 動画「3.11震災記録上映」
第2部 主催者説明
第3部 対談 涌井義郎さん 曾我日出夫
第4部 意見交換

日時 2022年5月28日(土)
14:00～16:10(開場13:30)
会場 ザ・ヒロサワシティ分館 集会室10号
(旧茨城県民文化センター)
水戸市千波町東久保 697 TEL 029-241-1166
資料代 500円

涌井義郎氏プロフィール
経済学園農業栄養専門学校元教員、あした有機農園設立者、技術士事務所、有機農業の技研究所主宰

共催 いばらき未来会議、憲法のつどい実行委員会
協賛 あしたを拓く有機農業塾、穂鹿丸重山農場、社会の平和を考える会、生活クラブ生活協同組合 茨城・県央ブロック、常総生活協同組合

連絡先 いばらき未来会議代表：曾我日出夫 TEL 0299-45-6015 E-mail: hsoga319@gmail.com
憲法のつどい実行委員会事務局長：黒澤純一 TEL 029-350-6648 E-mail: mito@jtsu-e.org